



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ウェブサイトには決算説明資料を掲載予定です。)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (電話会議方式での開催予定です。)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,339	3.7	1,645	18.5	1,584	16.8	1,144	13.4
2020年3月期第2四半期	24,247	10.1	2,019	3.8	1,902	7.5	1,321	3.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,211百万円 (8.8%) 2020年3月期第2四半期 1,328百万円 (0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	259.28	
2020年3月期第2四半期	299.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	57,808	20,453	35.4	4,631.93
2020年3月期	57,421	19,720	34.3	4,468.29

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,453百万円 2020年3月期 19,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		110.00	110.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	2.4	3,000	4.0	2,800	1.1	1,950	0.3	441.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,192,619 株	2020年3月期	5,192,619 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	776,923 株	2020年3月期	779,295 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	4,414,145 株	2020年3月期2Q	4,410,406 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの事業環境は、F P D (Flat Panel Display) 業界については、前工程設備は堅調に推移しましたが、後工程設備は一部顧客の投資計画の後ろ倒しなどがありました。

半導体業界については、ロジック/ファウンドリ向け、メモリ向けの設備投資がいずれも順調に推移しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は23,339百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は1,645百万円(前年同期比18.5%減)、経常利益は1,584百万円(前年同期比16.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,144百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

なお受注高は、スマートフォンの売れ行き低迷や一部顧客の投資計画の後ろ倒しに影響し、18,191百万円(前年同期比24.3%減)となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

F P D前工程では、中小型パネル向け装置が増加し、大型パネル向け装置も堅調であったことから、計画どおり前年同期に比べ売上高が増加しました。

半導体前工程では、ロジック/ファウンドリ向けやウェーハ向け装置が概ね順調に推移し、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ売上高が増加し15,998百万円(前年同期比22.5%増)となりました。セグメント利益はF P D前工程の売上高の増加や固定費の減少、機種構成の変化により、1,361百万円(前年同期比107.6%増)となりました。

なお受注高は、半導体前工程は順調に増加しましたが、F P D前工程は一部顧客の投資計画の後ろ倒しにより減少し、全体では前年同期に比べ減少しました。

(メカトロニクスシステム部門)

F P D後工程では、顧客投資計画の後ろ倒しがあり、大型パネル向け、中小型パネル向けとも低調に推移し、前年同期に比べ売上高が減少しました。

半導体後工程では、前年同期に比べ最先端パッケージ向け装置が堅調でしたが、全体としては主にモバイルデバイス用部品向け装置が低調となり、売上高が減少しました。

真空応用装置では、車載関連向け装置を中心に前年同期に比べ全体的に低調となり、売上高が減少しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ売上高が減少し5,551百万円(前年同期比39.3%減)となりました。セグメント利益は、売上高の減少と機種構成の変化の影響により284百万円(前年同期比76.9%減)となりました。

なお受注高は、F P D後工程は一部顧客の投資計画の後ろ倒しにより減少し、半導体後工程も想定を下回り、前年同期に比べ減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ386百万円増加し57,808百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,034百万円増加した一方で受取手形及び売掛金が244百万円、仕掛品が272百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ346百万円減少し37,355百万円となりました。これは主に、未払法人税等が327百万円増加した一方で買掛金が244百万円、未払費用が200百万円、未払金が268百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ733百万円増加し20,453百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,144百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,034百万円増加し、13,744百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,687百万円（前年同期は107百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上により資金が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は136百万円（前年同期は344百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、1,550百万円の増加（前年同期は452百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は494百万円（前年同期は422百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いにより資金が減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正につきましては、本日（2020年11月5日）公表しました「2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,724	13,758
受取手形及び売掛金	27,317	27,073
電子記録債権	497	591
商品及び製品	939	1,011
仕掛品	1,716	1,444
原材料及び貯蔵品	213	217
未収入金	1,683	1,677
その他	450	367
貸倒引当金	△1,073	△1,077
流動資産合計	44,469	45,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,471	29,505
減価償却累計額	△20,505	△20,728
建物及び構築物 (純額)	8,966	8,777
機械装置及び運搬具	5,000	5,484
減価償却累計額	△4,247	△4,064
機械装置及び運搬具 (純額)	753	1,419
工具、器具及び備品	1,028	1,102
減価償却累計額	△805	△861
工具、器具及び備品 (純額)	222	240
土地	119	119
リース資産	86	90
減価償却累計額	△18	△26
リース資産 (純額)	67	64
建設仮勘定	975	391
有形固定資産合計	11,104	11,012
無形固定資産		
特許権	317	329
その他	409	362
無形固定資産合計	726	691
投資その他の資産		
投資有価証券	79	81
長期前払費用	14	5
繰延税金資産	768	715
その他	263	242
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	1,121	1,040
固定資産合計	12,952	12,744
資産合計	57,421	57,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,107	10,933
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	1,200	—
リース債務	15	16
未払法人税等	151	478
未払費用	3,290	3,089
前受金	483	518
役員賞与引当金	36	20
その他	712	471
流動負債合計	22,097	20,627
固定負債		
長期借入金	4,600	5,800
リース債務	58	54
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,452	7,376
役員退職慰労引当金	21	23
修繕引当金	300	302
資産除去債務	90	91
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	15,604	16,727
負債合計	37,701	37,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	8,716	9,373
自己株式	△4,021	△4,013
株主資本合計	20,493	21,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	7
為替換算調整勘定	260	229
退職給付に係る調整累計額	△1,038	△942
その他の包括利益累計額合計	△773	△706
純資産合計	19,720	20,453
負債純資産合計	57,421	57,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,247	23,339
売上原価	16,458	16,521
売上総利益	7,788	6,818
販売費及び一般管理費	5,769	5,172
営業利益	2,019	1,645
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	0
デリバティブ評価益	49	69
その他	13	33
営業外収益合計	66	106
営業外費用		
支払利息	64	47
為替差損	26	44
その他	91	76
営業外費用合計	182	168
経常利益	1,902	1,584
税金等調整前四半期純利益	1,902	1,584
法人税、住民税及び事業税	451	387
法人税等調整額	129	52
法人税等合計	581	439
四半期純利益	1,321	1,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,321	1,144

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,321	1,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	1
為替換算調整勘定	△70	△30
退職給付に係る調整額	79	95
その他の包括利益合計	7	67
四半期包括利益	1,328	1,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328	1,211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,902	1,584
減価償却費	674	780
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	442	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	19
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	64	47
為替差損益 (△は益)	△9	△10
前受金の増減額 (△は減少)	△121	38
売上債権の増減額 (△は増加)	2,011	143
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△594	△263
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,960	△609
未収入金の増減額 (△は増加)	621	6
その他	△111	73
小計	987	1,811
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△64	△47
法人税等の支払額	△1,033	△80
営業活動によるキャッシュ・フロー	△107	1,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△218	△76
その他	△126	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△7
長期借入れによる収入	2,200	1,200
長期借入金の返済による支出	△2,000	△1,200
配当金の支払額	△619	△486
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△422	△494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△942	1,034
現金及び現金同等物の期首残高	13,171	12,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,228	13,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	13,058	9,146	1,084	958	24,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	103	-	-	124
計	13,079	9,250	1,084	958	24,372
セグメント利益又はセグメント損失(△)	655	1,235	△27	277	2,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,141
全社費用(注)	△184
その他	△53
四半期連結損益計算書の経常利益	1,902

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	15,998	5,551	833	955	23,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	92	0	—	113
計	16,019	5,644	833	955	23,453
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,361	284	△68	282	1,859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,859
全社費用(注)	△238
その他	△37
四半期連結損益計算書の経常利益	1,584

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。